

内陸ハブシティの実現を目指す

リニア誘致 —— 産業界の期待

産業振興 市に提言へ

リニア中央新幹線の中継駅設置は、首都圏南部における広域交流拠点都市を目指す相模原市にとって、大きなインパクトがあります。当商工会議所として、この度、自立都市相模原市の実現のため、「リニア中央新幹線を活かした産業振興まちづくり」について相模原市に提言をする予定です。

今後、さがみ縦貫道路の開通を含め、広域的な交通体系が整備され、相模原市は広域連携の拠点都市としてのポテンシャルが更に高まります。人や企業に選ばれる「人・自然・産業が共生する活力あるさがみはら」の実現に向け、相模原市と連携して取り組みを進めてまいります。



相模原商工会議所 会長
河本 洋次氏

新ビジネス機会創出

さがみはら産業創造センター(SIC)は、起業家や新分野進出を目指す中小企業のパートナー企業として、相模原市や中小機構などの出資で、平成11年に設立されたインキュベーションセンターです。

相模原市は、都心から比較的近い立地で、豊かな自然に恵まれたパランスのとれた地域です。さがみ縦貫道と津久井広域道路などの整備計画の実現も目前で、首都圏西部の「広域交通拠点都市」としての役割が期待されます。産業創造のインフラの充実が進み、一言で表現すると、「新しいものが生まれ育つ街」インキュベーションシティと言えます。

SICでは、入居企業へのサポート支援のほか、地域の中小企業や大学などと連携した技術開発支援など、今後も新たなビジネス機会の創出に向けた取り組みをいたします。



さがみはら産業創造センター社長
中嶋 隆氏

産業集積 さらに発展を

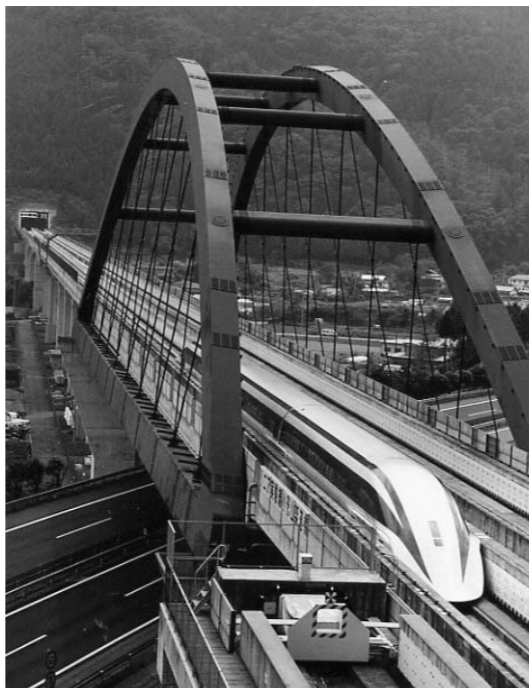
リニア新幹線中間駅誘致が橋本に決定し、今後の相模原市の更なる「ポテンシャルアップ」に大きな期待を寄せています。特に産業面では、東京や名古屋への移動時間の大幅な短縮により技術情報や人的交流が活性化され、地域の発展に不可欠な産業集積も加速し、相模原市のさらなるネーミングアップの向上につなげられたいと思います。

1977年に相模原市に創立した当社は、電子機器のEMSを軸とし「開発設計・総合組立」を主体事業としており、昨年11月には「医療機器分野」での製造許可の認可を受け、「関連した計測分野」へと、より高度な技術集積の中、発展してまいりました。

2013年度に全面開通を予定するさがみ縦貫道に加え、今回のリニア新幹線中間駅の決定により、内陸工業都市の中堅技術企業として積極的な事業展開を目指したいと考えております。



マーク電子社長
村山 忠雄氏



東京・大阪間を約1時間で結ぶリニアモーターカー

相模原市

リニア新幹線中間駅 橋本駅周辺で誘致決定

神奈川県北部の内陸に位置する相模原市は、交通網の整備が進み、交通の要となりつつある。2013年度中に首都圏中央連絡自動車道「さがみ縦貫道」が全面開通するだけでなく、27年に開通予定のリニア中央新幹線の中間駅を橋本駅に誘致することで合意した。リニア開通による産業への効果は絶大と見ており、次世代の都市づくり、研究開発拠点の集まる産業都市を目指す。

次世代の都市づくり

交通網・工業団地整備進む

相模原市は10年4月に、研究開発基盤のさらなる政令指定都市に移行し、2年が経つ。「まだベツドタウン」という位置づけが強い「産業・雇用政策」としながらも、道分1時間かかったが、約10分には短縮でき、名古屋駅から約30分と大幅に短縮できる。この利点を元に、「都心にはない機能を担うこと、海外の企業

を担うこと、海外の企業



相模原市橋本駅周辺に中間駅誘致の合意を報告する黒岩祐治県知事(左)と加山俊夫相模原市長(2月3日、県庁)

また、10年度から工事を進めてきた圏央道の一部区間、さがみ縦貫道は、13年度中に全面開通する予定だ。地元の国道16号線や129号線の渋滞緩和が期待できるだけでなく、混雑しやすい首都圏高速道路を離すに北関東以北など、全国に一層アクセスしやすくなる。八王子ジャンクション・高尾山ジャンクション(高尾山IC)は25日に開通、海老名IC・相模原IC間は12年度内、相模原IC・高尾山ICは13年度内に開通する見込みだ。14年に開通予定の城山ICに近い金原地区、川島・大島界地区、相模原ICに近い当麻地区、麻溝台・新磯野地区に新しい工業団地を順次オープンし、企業誘致施策にも力を入れる。

リニア駅誘致と工業団地整備のメリットを合わせれば、東西からアクセスしやすい橋本駅周辺に本社機能や研究開発機能の拠点を、そこからアクセスしやすい工業団地内に工場を設置するモデルも考えられる。

相模原市は1955年の工場誘致条例制定以降、製造業で発達してきた。独自技術を持つ企業や技術者も多く、研究開発の要請に耐える土壌がある。(同)とし、研究開発部門の集積地として海外企業を積極的に誘致していく考えだ。

また、相模原市は内陸部に位置しており地震も不安定なことから、災害リスクの低さや工場設備の精度保持の面で、工場立地に利点があるのも特徴だ。相模原駅に近接し、13年度末に一部返還される相模原総合補給廠跡地の約17秒を利用して、防災拠点の整備も検討している。

東西の軸上に位置し、さらにアクセスが向上することを見込み、物流拠点の集積も進む。13年には三菱地所とラオスが相模原市中央区の田名

宇宙と産業の街 JAXAと連携

相模原市中央区には宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙科学研究所の中核となる相模原キャンパスがある。2010年6月に奇跡的な帰還約5万8000人が訪れた。



衛星の模型などを展示した展示室は随時無料開放している。08年12月に相模原市は、JAXA、東京国立近代美術館と3者で協定を結び、航空宇宙関連の講演会やイベント出展など文化事業で連携している。

MARK ELECTRONICS

ISO 9001
ISO 14001 認証取得

ISO13485(医療機器) 認証取得
医療機器製造業認可工場(認可番号14BZ290021)

Medical Technology & Innovation

株式会社 マーク電子

かながわ中小モデル工場認定

〒252-0132 相模原市緑区橋本台1-31-1
技術開発センター・技術部直通
TEL.042-774-4134(代) FAX.042-771-1226
http://www.markd.co.jp

新規創業者や新分野進出企業の方々に

オフィス・ラボ

を提供しています。

空室状況はお問い合わせください。

株式会社さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21 TEL.042-770-9119
www.sic.sagamihara.jp

SICの事業 ●経営サポート ●投資 ●人材育成 ●連携 ●ラボ・オフィス

産業界の活力で新相模原を創出
会員とともに行動、変革、そして未来へ

相模原商工会議所
URL http://www.ssp21.or.jp

会長 河本 洋次 副会長 阿部 邦雄
副会長 小俣 邦正 副会長 原 清助
副会長 石塚 良昭 専務理事 座間 進

〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3 TEL.042-753-1315(代表) FAX.042-753-7637

地域経済の活性化にむけて、
中小企業への支援、産業情報発信等を実施

財団法人 相模原市産業振興財団

理事長 河本 洋次

〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3 相模原商工会館本館4階
TEL.042-759-5600 FAX.042-759-5655
http://www.ssz.or.jp/

WPC

DLCとWPC

低摩擦・高硬度な複合処理
新たな表面をクリエイト!

株式会社 不二WPC http://www.fujiwpc.co.jp/ http://www.facebook.com/fujiwpc
〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台4丁目1番83号 TEL.042-707-0776/FAX.042-707-0779

MTL 高精度ロータリーエンコーダでデジタル制御の未来へ。

人間と機械の柔らかな調和をめざす

小型・高分解能・耐環境仕様

磁気式アブソリュートエンコーダ
MMS-10 Series
分解能 10bit(1024)

5月新発売!

中空φ10mm 厚さ18mm 高さ15.5mm 外径13mm

薄型・中空・高分解能

ロータリーエンコーダ
MEH-30T Series
高分解能 200,000P/R

5月新発売!

マイクロテック・ラボラトリー株式会社 http://www.mtl.co.jp | マイクロエンコーダ 検索
■ 本社 〒252-0318 神奈川県相模原市南区上鶴岡本町8-1-46 TEL.042-746-0123(代) FAX.042-746-0960 E-mail:sales@mtl.co.jp

「光と電波」
情報通信・デジタル家電を支える昭和真空

http://www.showashinku.co.jp

「真空」をベースにした独創のノウハウで、
現代の多彩な先端技術産業に貢献

株式会社 昭和真空

事業所
本社・相模原工場 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番10号
TEL.042-764-0321 FAX.042-764-0329

大野台パーツセンター 〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台二丁目27番2号

デジタルコントローラ

TTM-200 シリーズ
「簡易フロン機能」を新規搭載

●新PIDアルゴリズムを採用し制御性を向上
●フルマルチ入力 熱電対(13種類)・白金測温抵抗体(2種類)・電圧(5種類)・電流(1種類)の入力仕様(1機種で実現。(パラメータでの設定変更))
●サンプリング周期 200msの高速度を実現
●コンパクトサイズ 奥行きが55mm(TTM-204)・65mm(TTM-205 / 207 / 209)のコンパクトサイズ。又、パネル面取付の突出が2mm。
●ロード通信機能 パラメータのセットアップ作業に最適
専用ケーブル・オプション(有償)
専用ソフトウェア・オプション(有償)
※ホームページからダウンロードできます。

TTM-204に1/100℃の高精度分解能機種をラインナップしました。

TTM-204 グレー TTM-204 ブラック TTM-207 ブラック TTM-205 ブラック TTM-209 ブラック

温度センサ 各種温度素子のセンサを標準仕様だけでなく、耐薬品性に優れたセンサを始めお客様のニーズに沿った仕様の製品も製作致します。

プローブカード 半導体製造工程での検査器具として欠かせない製品です。製品仕様はお客様のニーズに沿ったピン・挟み込みの対応は勿論の事、短納期の生産にも対応致します。

各種温度コントローラ・温度センサの御用命も承ります。

Toho 東邦電子株式会社

本社/〒252-0245 神奈川県相模原市中央区田名3-13-21
TEL.042-777-3311(代) FAX.042-777-3751
URL: http://www.toho-inc.com E-mail: info@toho-inc.co.jp

本社営業部 ☎042-777-3314 大阪営業部 ☎06-6353-9205
東京営業部 ☎03-3363-1331 熊本営業部 ☎096-214-6507